



# 医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第79号

(R2/5/19)



第83回ワーキンググループ会議Web (令和2年4月23日)

## “どうして？エンディングノート 「私の整理帳」を作成しよう”

大津市民生委員児童委員協議会連合会高齢者部会長  
福田 正彦 さん



高齢者から民生委員児童委員に寄せられる相談には、**死を意識した心配事**が多くなっています。高齢者部会の研修で、長寿命化と核家族化によって身仕舞いに不安を抱く高齢者の声を聞いたことが、『私の整理帳』を作るきっかけとなりました。

新型コロナウイルス感染防止のためZoomで開催しました！



☆書きやすくて親しみやすいエンディングノートをみんなで考えて作りました☆  
高齢者部会役員、市社協役員で検討したたき台を作成⇒高齢者部会員で検討⇒地区の民生・児童委員や学区社協、学区自治連などに説明・提案し、**意見や感想**をもらって掲載する内容をさらに検討

「文字を大きく見やすい色に」「枚数は少なく」「心変わりしても書き直せる」  
「亡くなった時に知らせて欲しい連絡先」「インターネットなどのパスワード/IDの記載」「介護と終末期の医療」等



## 『私の整理帳』完成！！

- ✓ 平易な言葉と質問形式で書きやすい
- ✓ 市社協又はホームページから入手できる
- ✓ 一冊 100円で安価なため書き直ししやすい
- ✓ 商売気がないので入手後に勧誘がない
- ✓ 死後の手続きも詳細で見やすい
- ✓ 生前、死後を通じて記入した方の望みが明確に

タイトルは  
・カタカナでなく  
・直接的に死を使用しない  
・親しみやすい  
ものを・・・



## 参加者より

- ・専門職や行政担当者が作るのではなく、市民の皆さんが作られたことが素晴らしい
- ・エンディングノートは、市民と共に、医療・介護だけではなく多職種が話し合いながらつくる場の設定が必要だと思った
- ・「法的に効力はない」というのは医療・介護の現場でも課題だ。
- ・温かみのあるネーミングで、活用していただきやすいのではないかと考えた
- ・「判断能力が低下した際に誰に判断を委ねたいか？」という項目はとても大切だが、なかなか事前に確認できていない。今後検討していきたい
- ・書店の書式で準備していたが、よく考えられており、入手したいと思った
- ・「身近な街の法律家」である行政書士が地元の各委員と関係を広げていくことで、よりきめ細かく寄り添うことができるのではと思った

## 民生委員児童委員って？

民生委員推薦会が選任、都道府県知事が推薦し、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員。地域住民の困りごとを解決するお手伝いをしてくださっています。

【第84回ワーキンググループ会議について】  
テーマ：「住み慣れた地域で住み続けたい！  
～地域での見守り等の支援活動について～」  
話題提供者：長浜市社会福祉協議会  
第1層生活支援コーディネーター  
細江 正直さん  
日時：5月28日（木）18：30～19：50  
第1部 挨拶&講義  
第2部 質疑応答 等

Web 開催

ホームページの「みまもり！みどりちゃんTV」に公開しました。見てね！



## Web 配信、いかがでしたか？

「移動時間をかけずに参加できるのはありがたい」「遠隔参加できて良かった」「スライドが見やすかった」など好意的な声がある一方で、「質問・意見交換の時間が欲しかった」「操作方法がわからず参加できなかった」とのご意見も複数ありました。

ご意見等お待ちしております！

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局（滋賀県庁 医療福祉推進課内） 金岡・西浦  
TEL:077-528-3529/FAX:077-528-4851/E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

♪ 今年度も引き続き担当させていただきます。よろしくお願いいたします。